

2017 年度

ハワイ大学留学プログラム

University of Hawaii Program

秋 募集要項



募集対象： 理工学部、情報理工学部、生命科学部、スポーツ
健康科学部、経済学部、国際関係学部、映像学
部、経営学部 2・3回生 および 法学部2回生

応募期間：2017年9月26日(火)～10月5日(木)

プログラム実施期間：2018年2月5日～3月8日(32日間)



「ハワイ大学留学プログラム」(University of Hawaii Program) は、2010 年度に理工学部で開講された留学プログラムです。

2017 年度は、教養科目 B 群の海外留学科目として、以下の学部・回生を対象に実施されることになりました。

- 理工学部 (2・3 回生)
- 情報理工学部 (2・3 回生)
- 生命科学部 (2・3 回生)
- スポーツ健康科学部 (2・3 回生)
- 経済学部 (2・3 回生)
- 法学部 (2 回生)
- 国際関係学部 (2・3 回生)
- 映像学部 (2・3 回生)
- 経営学部 (2・3 回生)

2017 年度 教養科目 B 群 海外留学科目 ハワイ大学留学プログラム (University of Hawaii Program) 募集要項

1. 本プログラムのねらいと主な内容

University of Hawaii Program は、英語の総合的・実践的運用能力を培うことを目的としています。理工学部の英語専任教員が引率するので留学経験が無くとも安心して参加できます。

- ・留学期間：4 週間+4 日（出発～帰国まで 32 日間）
 - ・授業：ハワイ大学で[自然科学系教養講座](#)、ハワイ文化の講座、英語学習講座等を受講
 - ・アクティビティ：各種フィールドトリップやハワイ大学の学生との交流等、盛り沢山に用意。
- その他、昨年度のプログラムスケジュール（本要項末尾に掲載）を参考にしてください。

多くの皆さんにとって、これだけの期間の留学は学生時代にしか経験できないでしょう。本プログラムを通して、国際社会の一員としての自覚を身につけ、英語のスキルアップの大きなきっかけとしてください。多くの皆さんの応募をお待ちしています。

2. 本プログラムに関わる基本事項

留学先	ハワイ大学マノア校(アメリカ・ハワイ州オアフ島ホノルル市内)			
渡航期間	2018 年 2 月 5 日～3 月 8 日(32 日間) ※国内で行われる事前・事後研修が別途予定されています(会場は BKC)。			
単位授与	学部名	科目名	配当回生	単位数
	理工学部	ハワイ大学留学プログラム[T]	2 回生	2 単位
		特殊講義(教養B) I [T]	3 回生	
	情理・生命・スポーツ・経済・国際関係・映像・経営学部	University of Hawaii Program [T]	2・3 回生	
	法学部		2 回生	
担当教員				
成績評価	本学の基準に基づく 5 段階評価 ※本科目は 2017 年度後期科目ですが、実際に成績が反映されるのは 2018 年度前期となります。			
受講登録	参加者の受講登録は大学が行います。(年間受講登録制限外)			
応募資格	①理工学部・情報理工学部・生命科学部・スポーツ健康科学部・経済学部・国際関係学部・映像学部・経営学部 の 2・3 回生、および 法学部2回生 ②TOEIC®テスト 450 点以上のスコア(他の試験の場合は、これに相当するスコア) ※応募時点でスコアが TOEIC®テスト 500 点レベルに達していない人は、出発までに最低でも 500 点が望めるよう努力してください(スコアの再提出は不要)。			
募集人数	残り 10 人程度(最少催行人員 7 人) ※応募者数が最少催行人員に達しないときは、中止となります。 既に一次募集で 6 名が参加決定しています。			

参加費用	往復航空運賃、寮の宿泊費・食費(平日朝昼2食)、授業料、現地バス代、等を含み 約 460,000 円<2016 年度実績>(奨学金を差し引いた金額) ※ 60,000 円~80,000 円の奨学金が全員に支給されます。 海外旅行傷害保険 加入必須—約 1 万円が別に必要 ※ 傷害保険会社は本学指定のものに加入 著しい経済情勢の変化などによって通常想定される範囲を超えて料金が改定されるときは、その範囲内で変更することがあります。最終的な金額確定は、2017 年 12 月頃。
宿 舎	ハワイ大学 学生寮もしくは大学のセミナーハウス(予定) ※ハワイ大学の都合により、ホテルへの宿泊を伴う場合があります。
ビ ザ	渡航前に ESTA の手続きを行なう必要があります。 ※あなたの国籍によっては、別途、ビザ取得手続きが必要になることがあります。 ※ESTA 申請、ビザ取得にかかる費用は自己負担となります。
奨 学 金①	立命館大学海外留学チャレンジ奨学金 (補助額:一人につき 6 万円)
奨 学 金② ※条件を満たす者 から選考あり	日本学生支援機構(JASSO) 平成 29 年度海外留学支援制度(協定派遣) 給付予定額 80,000 円 ※JASSO が定める成績基準、家計基準、英語スコアを満たす者のみ申請可能。 ※申請に関する詳細は、別途、合格者ガイダンスにて説明します。 ※採用枠 最大 14 名まで。 ※奨学金①との併給はできません。

3. 本プログラムの授業

項目	プログラム内容(予定を含む)	講義回数
事前研修	英語研修(学内)(※1)	2 回
ハワイ大学	地域文化研究	4 回
	英語によるプレゼンテーションの準備と資料作成方法	8 回
	英語によるプレゼンテーションの準備と資料作成実習	4 回
	科学技術講義(※2)	8 回
	本学教員によるフォローアップ講義(討議含む)	4 回
	フィールドトリップ(多文化なハワイ諸島見学)	
	フィールドトリップ(ポリネシア文化センター見学)	
事後研修	フィールドトリップ(科学技術実地研修)(※3)	
	ポスター・プレゼンテーション等(学内)	1 回

(※1)英語研修(学内)(予定)

日本・ハワイに関するテーマを定め資料収集を中心に行います。

(※2)科学技術講義概要(予定)

下記は一例です。

①環境科学(生態学等)

絶滅の危機にさらされた海亀、珊瑚の白化現象、海洋波発電等について実地で学習します。

②機械工学、ロボティクス

構造研究、小型惑星研究、ロボット外科手術研究等に関する講義を傾聴します。

③建築学

- ・日本の伝統的な建築様式とポリネシアの伝統的な建築様式を比較します。
- ・台風災害から建物を守るために現在日本人がとっている対策とハワイで用いられている方法とを対比します。

④地球科学(自然災害等)、都市システム関係

ハワイと日本の共通点(火山、ハリケーン／台風、地震、太平洋)について学習します。

(※3) 科学技術実地研修概要(予定)

- ①ビショップ・ミュージアム見学
- ②NOAA(米国海洋大気局)の施設見学
- ③オアフ島カワイロア風力発電所見学

4. 本プログラムの応募方法

受付期間	2017 年 9 月 25 日(月)～10 月 5 日(木) 17:00 まで	
応募方法	下記の 2 点を受付期間内に提出してください。 ①応募書類(別紙) ②英語スコアのコピー ※英語スコアのコピーを提出できない方は、本学で実施した団体試験の結果(ベストスコア)を採用します。	
応募書類 提出先	BKC	理工学部事務室 (コアステーション 1 階) 月曜:12:30～17:00、火～金曜:10:00～11:30、12:30～17:00
	衣笠	応募書類に必要事項を記入して、下記メールアドレスに添付して送信。 英語スコアは PDF にしたものを添付してください。 rikou-in@st.ritsumeai.ac.jp
	OIC	※メールタイトルに「2017 年度ハワイ大学留学プログラム応募」、と記載。 ※メール本文に、学部・学科名、回生、氏名を必ず記載すること。
選考方法	書類および面接選考 <u>※面接は BKC で実施します(10/10-10/13 の期間内)。</u> <u>※理工学部で「英語9・10」SA/AD レベル受講者には面接は不要です。</u> <u>※面接日時・会場は、10/6(金)に確定した情報を RAINBOW ID に通知します。</u>	
結果発表	2017 年 10 月 17 日(火)に CAMPUS WEB および RAINBOW ID に通知します。 必ず確認してください。	

5. 本プログラムの応募から事後研修までの流れ

※具体的な日程および会場等については、参加者が確定次第、個別メール(RAINBOW ID)および CAMPUS WEB でお知らせします。**必ず、定期的に RAINBOW ID のメールを確認してください。**

①	応募受付開始(理工学部事務室に応募書類を提出)	9 月 25 日(月)～
②	応募締切	10 月 5 日(木)17 時〆切
③	面接選考期間(応募時に希望日程を予約)	10 月 10 日(火)～10 月 13 日(金)
④	結果発表(CAMPUS WEB/RAINBOW ID 通知)	10 月 17 日(火)
⑤	合格者ガイダンス	BKC 10 月 19 日(木) 18:00 より

	(留学までの手続説明、各種書類交付) ※合格者は必ず出席する必要があります。	衣笠	合格発表後、各キャンパスの共通教育課窓口で個別対応 (※必ず 10/20(金)までに来訪してください。)
		OIC	
⑥	辞退期限・申込金(5万円)納入締切 ※辞退期限以降の辞退は実費が生じます。 各種書類 提出期限		10月30日(月)
⑦	パスポート(旅券番号・顔写真・氏名等ページ)のコピー 提出締切		11月10日(金)
⑧	留学中の健康管理についてのガイダンス		11月以降(他の春期留学プログラムと合同)
⑨	危機管理&メンタルヘルスガイダンス		11月以降(他の春期留学プログラムと合同)
⑩	海外旅行傷害保険ガイダンス(by株)クレオヒューマン)		12月中旬頃
⑪	参加費最終確定【予定】		11月上旬
⑫	参加費用残額納入締切【予定】		12月上旬
⑬	渡航前ガイダンス(旅行社、保険、その他)		2018年1月上旬
⑭	事前研修(国内) 2回		2017年12月中旬頃
⑮	ハワイ大学(現地)研修 (日本出発～日本帰国)		2018年2月5日～3月8日
⑯	事後研修(国内) 1回 (ポスタープレゼンテーション)		2018年4月

6. 応募の際の確認事項

- 応募意思の確定は、辞退期限までに行ってください。辞退期限以降に辞退した場合は、申込金(5万円)は返還しません。また、実費負担(ハワイ大学での実習料、航空券キャンセル代等)が生じます。特に、**参加費最終確定後の辞退**は、たとえ参加しなくても、**プログラム費用全額の支払いが必要**となります。
- 渡航準備のため、麻疹、風疹、流行性耳下腺炎、破傷風等の予防接種歴(または抗体陽性)が確認できる母子手帳・予防接種記録等の書類を準備しておいてください。
- 書類に記入してもらう個人情報は、参加者の渡航に関する手続きや本学からの連絡および今後のプログラム内容の改善を図るため、個人が特定されない学内統計資料の作成目的にのみ使用されます。また、留学先大学および旅行代理店・保険会社に対して渡航手続・保険手続を進めるうえで必要な情報についてのみ提供されます。
- 本学が指定する往復の航空便の利用および本学が指定する海外旅行保険への加入を義務付けます。また、本学の許可なしに留学の延長、短縮はできません。
- 渡航に必要なパスポート、ビザ等が所定の期間内に取得できない場合は、プログラム参加を辞退してもらうことになります。(辞退期限後の辞退となりますので、上記1.同様に費用負担が生じます。十分留意してください)
- プログラム参加には、胸部X線検査を本学の定期健康診断内で毎年度受診していることが必要です(結核に罹患していないことを証明するため)。健康上の不安がある場合は、必ず保健センター医師に相談してください。また、現地での健康管理は各自で行ってください。
- プログラム参加中の適切な医療措置のため、現在かかっている心身の疾患についての申告等を求めます。病気の種類や症状によっては、本学もしくは受入先大学・機関の判断によりプログラム参加・継続を辞退してもらうことがあります。
- 大学の指示に従わない、必要な書類を提出しない、事前講義や渡航前ガイダンスに参加しないといった行動をとる場合は、プログラムへの参加を辞退してもらう場合があります。**
- 現地滞在中の様々なトラブルへの対応については、基本的に自己責任です。現地においては十分な自覚を持ち、責任ある行動を心掛けてください。日本および現地の法令・規則を遵守し、立命館大学及び現地の教職員の指示に従ってください。

10. 学生の安全を最優先に考える観点から、学生の派遣にあたり、「世界情勢の緊迫」等への対応によって、プログラムの実施を中止する場合があります。天災・災害・ストライキ・伝染病・政治情勢の激変・テロ、その他不可抗力的な事態によって、プログラムの変更や中断を余儀なくされた場合であっても、立命館大学に対して一切の費用の払い戻し、損害賠償を要求しないでください。
11. 奨学金受給者が次の各号のいずれかに該当した場合は奨学金の返還を求めます。
- (1) 学籍を失ったとき
 - (2) 休学したとき
 - (3) プログラムの参加を取りやめたとき
 - (4) 成績が著しく不振のとき
 - (5) 立命館大学学生懲戒規程による懲戒処分を受けたとき
 - (6) プログラムの出願書類に虚偽の申告をしてプログラム参加者となったことが判明したとき
 - (7) その他奨学金の趣旨に著しく反する行為があったとき
12. その他プログラムで定める遵守事項に従うこと。

<問い合わせ>

立命館大学理工学部事務室 TEL:077-561-2625 FAX:077-561-2629 Email: se-kyomu@st.ritsumeai.ac.jp

〒525-8577 滋賀県草津市野路東一丁目 1-1 びわこ・くさつキャンパス コアステーション 1 階

窓口時間 月～金 10:00～17:00(※月曜 10:00～12:30 及び毎曜 11:30～12:30 を除く)

●ハワイ大学マノア校の紹介●

ハワイ大学マノア校は世界約 80 カ国、アメリカ全 50 州より約 18000 名の学生が学んでいるハワイで最大かつ最も知名度の高い大学です。ホノルル市内近郊の静かな住宅街にあるマノア溪谷に 320 エーカーもの広大なキャンパスがあり、マノア峡谷からも近く、アウトドアと都会の両方を満喫できます。



大学は政府と企業から 1 億 6 千 4 百万ドルもの費用を研究プロジェクトのために寄付されており、第二外国語教育研究では全米 1 位、植物バイオテクノロジーからの商品開発研究で 4 位、海洋研究 7 位、天文研究では 10 位を誇っています。また語学、言語学、遺伝学などハワイの特徴を生かした学問も非常に盛んです。87 種の学部専攻、89 種の修士専攻、57 種の博士専攻プログラムがあり、どの専攻もアジア太平洋地域に焦点を置いています。

(ハワイ州高等教育機関留学支援センターホームページより引用)

ハワイ大学マノア校公式サイト <https://manoa.hawaii.edu/>

	UNIVERSITY of HAWAII MANOA	創立	1907 年	学生数	18,865 名	留学生数	1,132 名
---	----------------------------------	----	--------	-----	----------	------	---------

●ホノルルの紹介●

かつてはハワイ王国の首都が置かれていたこともあるハワイ州およびオアフ島最大の都市で、同州およびアメリカの太平洋地域における経済、政治、文化の中心

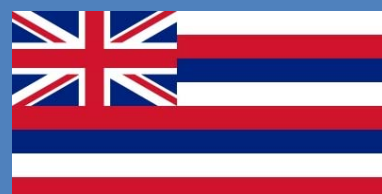


である。また、太平洋上の交通の要所として栄え、港や軍事基地、国際空港があります。市中心部はさまざまな企業の高層ビルやホテル、コンドミニアムが建ち並ぶものの、天然のビーチなど観光スポットにも恵まれ、1年を通して多くの日本人をはじめ世界各国から観光客が訪れます。市内にはワイキキビーチやクヒオ・ビーチなどのビーチ、ダイヤモンドヘッド、中華街（アメリカ最古）、アメリカ唯一の宮殿であるイオラニ宮殿などがあります。2月の平均最低気温は18.6℃、平均最高気温は27.1℃と大変温暖なサバナ気候です。

(Wikipedia 参考)

ハワイ大学留学体験記

2016 年度参加 理工学部物理科学科
白鳥 克哉 さん



自分の英語力を試したい

僕は日本で英語を勉強してきて、リーディング、ライティングはまあまあできるけど、リスニング、スピーキングが十分でないというコミュニケーション上の深刻なコンプレックスを抱いていました。短い大学四年間のうちに正課もこなしつつ、自身の英語力を最大化するために最も効率の良い方法を模索したとき、留学という選択肢に考えたりしました。しかし、それまで海外に滞在したことがなかったので、個人で留学するのは賢い選択ではないと考え、立命館大学のハワイ大学留学プログラムに応募しました。目的は後にも先にも自身の英語力を試すことでした。しからば、英語を通して現地の学生や教授から新しい事を学びたいあるいは取り組みたいと考えていました。

まったく新しいフロンティア

ハワイ大学留学プログラムではハワイ大学の国際寮（HALE MANOA）に一ヵ月過ごします。ダイヤモンドヘッドやワイキキビーチなどがとても近く、日中は熱いですが夜中は涼しく最高の立地、気候条件にあるハワイ大学。立命館大学 BKC よりも数倍大きいそのキャンパスでは、スケートボードに乗った学生が往来し、英語の会話が多く飛び交う環境に日本では味わうことのできないまったく新しいフロンティアを目の前に感じました。幸運なことに、プログラムが準備した講義やフィールドトリップを含めても、かなり多くの時間が与えられていたため、ハワイ大学の学生と交流したり、自分の興味ある研究室に足を運んだり、リゾート地ハワイの観光名所を訪れたりと自分次第でどこまでも学びを進めることができそうな気がしました。

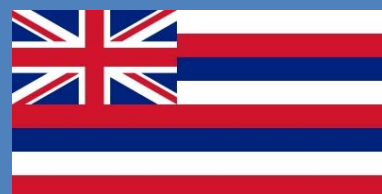
人生に一度あるかないかの貴重な経験

誰もが一度は行ってみたいと思う有名なリゾート地ハワイで、ハワイ大学の学生となって一ヵ月という期間、英語を通してハワイや日本のことについてあるいは自分の興味あることを学ぶということは人生に一度あるかないかの経験だと思います。参加すれば間違いなく自身の英語力が向上することのみならず、自身が抱えてきた日本人固有の考え方や文化を客観視することもできると思います。個人的な感覚から、ハワイでの一ヵ月は本当にあっという間です。その分、とても密度の濃い留学であったと思います。最後に参加を検討している皆さん、是非ともハワイにとべい（渡米…ハワイはアメリカだけに）



ハワイ大学留学体験記

2014 年度参加 理工学部機械工学科 南礼孝さん



英語への苦手意識を克服したい

Aloha, everyone! 外国に一度も行ったことのなかった僕は、大学のうちに一度だけでいいからどこかに留学したい! と思っていたので、2014 年度のハワイ留学プログラムに申し込みました。正直に言うと、僕はかなりといっていぐらい英語が昔から苦手で、英語に対する苦手意識を少しでも減らしたいという気持ちがありました。

みんなで顔合わせをしたとき、自己紹介などの時にも、もちろん期待や楽しみという気持ちも大きかったですが、これから一ヶ月間ハワイで過ごすということに対して、「大丈夫かな?」という不安もありました。実際行ってみると、一緒にいった他の 9 人のメンバーやオニール先生をはじめ、向こうで僕たちをお世話してくれた教職員の方々やハワイ大学でできた友人たちのおかげで、とても楽しくて有意義な一ヶ月を過ごすことができましたと思います!

美しい景色と多様な文化の中で学んだ貴重な経験

僕が一番印象に残っていることといえば、ハワイの気候や美しい景観でした。授業も座学だけでなく、フラダンスやフィールドトリップも多くとてもいい体験でした。ガイドブックで見る写真そのもので、本当にこの世の楽園のような景色だ! と思うこともありました。また、ハワイというところは多くの移民が移り住んでいたということもあり、街中を歩くと独特な文化の一部も目にすることができて、とても刺激的でした。

英語漬けの環境で英会話の実践も充実

行く前と結構イメージが違っていたところは、日本語がどのくらい通じるのか? という点でした。出国前は、ハワイはよく日本人が旅行に訪れるということもあって、そこかしこに日本語も書いてあるのかな、と思っていました。勿論ワイキキやアラモアナショッピングセンターをはじめとした日本人の多い場所や、日本人向けツアー・バスといった中には多く日本語表記を見ることができましたが、一方大学の近くなどを見渡してみると英語でなければ基本会話できないということを実感しました。ですから、向こうでの日々の講義の外においてもしっかりと英語になじみ、英語の学習を行うという面においてもとても充実した環境でした。

ハワイは治安もよく、またなかなか人生で一か月もそこで過ごせるなどという体験も珍しいかと思います! とても楽しく、また英語の学習へのモチベーション向上のきっかけにもなると思うので、もし行きたいと思ったら行ってみたいはいかがでしょうか。Thank you for reading, Mahalo!



理工学部機械工学科の参加者より

質問1 留学した理由は？

英語を話す環境に行って、native speaker のように話せるようになりたいという思いがあったので、ハワイ大学への留学に応募しました。また、語学学校と違う点が多かったことが応募の後押しになりました。聞く内容も話す内容も専門的なことが含まれており、また、英語を母国語とする人たちと交流する時間も多いため、将来海外で仕事をしたいと思っていた私にとって、絶好のチャンスだと思いました。

質問2 留学先で学んだことは？

専門的なことを英語で聞くということは、簡単なことではありませんでした。また、私たちに話すときのスピードと native 同士で話すときのスピードはかなり違い、native ばかりの輪に入ったときの戸惑いは大きかったです。ですが、この難しいことをする機会を自分から増やし、現地の生徒との交流する時間を大切にすることによって、帰国する頃には大きく成長出来ていたと思います。また、機械工学科の科目である、正規の制御工学の授業に潜り込ませてもらえるように教授との英語での交渉や事務室とのやりとりも、自分にとっては大きな経験になりました。日本語クラスに遊びに行った時には、英語からは離れますが、日本語の難しさも初めて知ることができました。

質問3 留学前にやっておけばよかったと思うことは？

コミュニケーションをとるときや、授業を聞くときは、単語を知っているにこしたことはないのですが、単語を復習しておくのも大切なことかもしれません。自分が大学で何についての勉強をしているのかや、将来何をしたいということなど、自分について英語で説明できるようにしておく、現地の生徒と交流するときに話題のひとつとして盛り上げられると思います。

Message 留学をしたことがない方へのメッセージをお願いします。

実際にハワイについて、現地の生徒と話すときや教授と話すとき、文法も大切ですが、単語を並べるだけでもコミュニケーションをとることはできます。英語を学びに行っているの、しどろもどろで当たり前という感じで私たちの話を聞いてくれます。恥ずかしがらず、どんどん話すことが大切かなと思います。また、日本人同士でかたまるだけではなく、どんどん自分から現地の生徒と交流するチャンスを掴みに行き、話すチャンスを増やしてください♪現地の生徒と仲良くなって遊びに行くことは、私の留學生活の中で一番楽しいことでした(*^^*)



理工学部環境システム工学科からの参加者より

質問1 留学した理由は？

大学入学時から、留学をしたいと考えていました。海外ならではの、新しい考え方や文化を自分の目で見て感じたいと思っていたからです。理系なので、一年やワンセメスターでの留学は卒業に差しさわりがあるということもあり、夏休みで一か月の留学を選びました。

質問2 留学先で学んだことは？

ハワイ大学では、ハワイの自然環境や生態系の変化、また日本とハワイの歴史を学びました。バスでオアフ島を一周回って気候や環境の違いを一日ですべて見て回れたことは特に面白かったです。また、パールハーバーの見学では、日本と戦争を敵国の目線から考えるきっかけになりました。ハワイの歴史を知るほど、日本のことを知ることが出来ました。

質問3 留学前にやっておけばよかったと思うことは？

語学は、自信があるようにふるまえば特に問題はないと感じました。TOEICのスコアとか、あまり関係ないと思います。自分がコミュニケーションをとりたと思って積極的に行動できれば問題ないのでは、と思いました。わたしは土地勘が鈍くて、迷子になることが多々あったので（笑）、治安なども含めて下調べはしておく冒険できるかなと思います。

Message 留学をしたことがない方へのメッセージをお願いします。

留学に関わらず、海外の文化に触れて自分で考えるという時間はわたしにとってとてもいい経験でした。とくに留学という点では、現地の学生と交流することができることが最大の魅力だと思います。UHの学生と話していると、もっと努力しなければいけないと感じ、同時にもっと学生生活を楽しみたいと感じました。日本語を勉強している学生との交流も興味深かったですね。留学を経て、感じることは人それぞれだと思いますが、目的をもって前向きな姿勢で取り組めば得るものは多いと思います。ぜひチャレンジしてください。

